

■中国：防城港原子力発電所、1号機が試運転開始

中国広核集団公司（CGN）は2015年10月25日、建設中の防城港原子力発電所（広西省防城港市）1号機（CPR1000）が17時に系統に連系し、試運転の段階に入ったと発表した。所定の試験後、年内にも商業運転すると見込まれる。10月18日には、同社の陽江原子力発電所（広東省陽江市）3号機が試運転の段階に入っている。これで、CGNが保有する運転中（試運転含む）の原子炉は16基となり、発電設備容量は1,708.1万kWに達する。なお、防城港原子力発電所3、4号機には、国産炉である「華龍1号」が採用されることになっている。